

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

電話 代表092(431)5361 番

FAX 092(431)7613 番

環境負荷低減技術^なと学ぶ

ミラクルソル協が研修会

ミラクルソル協会(中村宜彦理事長)は4日、令和7年度(通算第32回)技術研修会「写真」を唐津市の高齢者ふれあい会館りふれで開いた。「環境と防災と維持管理技術」をテーマとし、参加した140人が環境負荷の低減につながる工法などについて学んだ。

中村理事長は冒頭、「この技術研修会では、時代の変化や技術の進歩に合わせながら実践につながる学びを大切にしてきた。近年は技術の高度化、多様化が進み、正しい知識と確かな技術の重要性がいつそう高まっている。日ごろの課題の解決や新たな気づきにつな

がることを期待している」と述べた。

講演では、初めに日本建設技術研究所の金丸彦一郎所長が、「身近に広がる環境配慮型工法」をテーマに、非吸水性および吸水性ミラクルソルを使用した工法について説明。非吸水性については、同製品を用いたFWG・軽量盛土工法では、土と同様の取り扱いが可能であり、比重0.4と一般の土に比べて軽量が単位体積重量の調整が容易であることなどの特長があるとした。

吸水性ミラクルソルについては、同製品を使用したFWG・透保水性舗装工法について、SAGAサンライズパークで行われた実証実験で温度上昇抑制効果が確認された

ことなどを解説。このほか、FWG・ウッドチップ工法、水質浄化工法等も紹介した。

続いて、「ニューレスプ工法、ジオファイバー工法、親杭パネル壁工法について」をテーマに日特建設九州支店技術部の竹内仁哉部



長が講演。施工事例とともに、ニューレスプ工法では狭あい地での施工が可能であることやジオファイバー工法ではせん断強度が増加することなどの特長について語った。

このほか、サンスイ・ナビコ九州営業所の堀江靖所長らによる「グラウンドアンカー健全度調査例およびSSL・Fixエグラウンドアンカー工法、仮設ECOパインド

工法の紹介」、岡三リビックジオテクノ部の木村伸部長による「多数アンカー式補強土壁工法の特徴と維持管理における新技術・管更生工法(SWライナー工法・ARISライナー工法)の紹介」、パネルディスカッションなどが行われた。